



学校だより 3月号MAR

平成31年2月28日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあい かがやき 豊かな心～

成長

学校長 小倉 早苗

1年生の子どもたちが植木鉢に植えた球根の芽が、ずい分育ってきました。中には、綺麗なヒヤシンスの花が咲いている鉢もあります。まるで、植木鉢に話しかけるように、一生懸命お水をあげている1年生の姿は、本当に微笑ましい限りです。栽培委員会の5・6年生の子どもたちも、花壇に、チューリップの球根をたくさん植えました。こちらも芽が伸びてきました。チューリップの花が咲き揃うのが、とても楽しみです。春の訪れが間近であることを実感する今日この頃です。

2月1日に、2年生が1年生を招待して『おもちゃランド』を開きました。これは、生活科の学習の中で行われた活動です。2年生がいくつものグループに分かれて、手作りのおもちゃ屋さんを開きました。1年生はお客さんです。どのグループも、すごくよく工夫されていて、びっくりしました。工夫の内容は、おもちゃのしくみだったり、お客さんの目を惹くような飾りだったり、ゲームを正しく楽しくできるようにという思いのこもった説明だったり、景気のよい呼び込みだったり……。ありとあらゆる工夫です。「もしかしたら、PTAの皆さんのかもの子バザーの影響を受けているかな？」と思うようなところもいっぱいあり、とても和やかな気持ちになりました。お客さんである1年生への接し方も、大変上手でした。2年生の頼もしいお兄さんお姉さんぶりが、非常に嬉しかったです。

2面でもお伝えしていますが、2月20日に、KFTのお別れ会がありました。1年間、仲良く過ごしたグループのリーダーである6年生に、感謝の思いを伝えるメッセージカードをプレゼントし、5年生がリーダー役となつて、みんなで楽しい時間を過ごしました。会の最後に、6年生一人ひとりがグループのみんなにメッセージを伝えました。1年間、リーダーとしてKFTを支えてきた思いが、一杯つまった深いメッセージでした。どの子ども、自分の心に思ったことを、自分の言葉で、真摯に伝えていました。リーダーとして、悩んだり困ったりしたことも、きっとあったのではないかと思います。下級生に温かく優しくメッセージを送っていました。中には、「ありがとうございました。」と礼をしながら、丁寧に感謝の気持ちを伝えていた6年生もいました。もうすぐ小学校を巣立っていく6年生の成長の姿、しかも心豊かな誠実な成長の姿を見ることができて、感慨深い気持ちになりました。

子どもたちの成長の姿は、日常の様々な場面で見つけることができます。「子どもが成長をしていくエネルギーってすごいなあ！」と思うことがよくあります。子どもたちの成長をいつも信じていますし、期待しています。

今年度も、子どもたちを温かく見守り、支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

KFT お別れ会



2月21日、今年度最後のKFT（かもの子ふれあいタイム）が行われました。1年間かもの子グループをリードしてくれた6年生に感謝を伝える会です。今回は、来年度6年生として全校を引っばて行く5年生が中心となって会の準備や運営をしてくださいました。この日のために、5年生は、6年生にかもの子グループでのリードの仕方や低学年への声のかけ方を教えてもらいました。一週間前に行った準備会では、6年生がいない中でも、5年生一人ひとりがそれぞれに自分の役割を意識し、自信をもって取り組んでいました。1～4年生もそんな5年生に安心してついていく様子うかがえましました。いよいよ「KFTお別れ会」当日。どの子も笑顔で楽しみに胸を膨らませてそれぞれの教室へ移動していました。この日は、前半に5年生以下で考えた遊びを6年生と共に楽しみ、後半は6年生への感謝の気持ちを伝えるために、6年生一人ひとりに、グループの下級生みんなが書いた寄せ書きをプレゼントしました。とても嬉しそうに寄せ書きを読んでいる6年生の姿が微笑ましかったです。最後に6年生一人ひとりから下級生に向けてメッセージが送られました。メッセージの言葉には、この1年間の思い出や頑張ってきた自信、成長した嬉しさ、鴨志田緑小学校の良さを受け継いでほしい思いなど、多くの思いが込められていました。

2年生麦踏み体験 1年生幼稚園との交流会

2年生は、2月21日（木）にかもの子農園に行き、「麦踏み（むぎふみ）」をしました。麦踏みとは、秋に撒いた麦が芽を出した後に、足で踏みつけ、根の張りをよくして丈夫に強く育つようにする昔からの伝統的な農作業です。あまり強く踏みつけすぎないように、例年2年生に麦踏みをしてもらっています。今年は、麦踏みをしながら、麦の近くに生えてきてしまった雑草抜きも頑張りました。畑の先生である宮里先生、丹治先生とボランティアさんにいろいろと教えてもらいながら、2年生の子どもたちは、麦踏みを楽しんでいました。2年生が踏んだ麦が大きくなったわに実ることを願っています。



前月号1面でもお伝えいたしましたが、1月29日、1年生は近隣幼稚園の年長の園児の皆さんを招待して、『小学校はたのしいよ』の会を開きました。園児の皆さんに「鴨志田緑小学校のことを教えてあげよう」という思いをもって、学校の中を案内したり、じゃんけん列車（ゲーム）をしたり、歌のプレゼントをしたりしました。1年生は、この日のために、自分たちの活動を工夫しながら考えていきました。安全に楽しく過ごせるように約束も決めて、大変しっかり取り組んでいました。1年生も園児の皆さんも、4月の再会を楽しみにしていました。



4年生10才を祝う会

4年生は、2月21日（木）に「10才を祝う会」を行いました。会の内容は、4年生の子どもたちが話し合いで決めた、「4年生の1年間」「地域」「東京2020」「未来」の4つのテーマで発表と、オリジナルの群読、感謝の気持ちを伝える「伝えたい言葉」、自分たちの成長を祝う「記念日」の2曲の合唱を披露しました。活動を通して、10才まで支えてくれた人々への感謝の気持ちや、自分自身の成長、地域への思いに気づき、これから先の未来へ希望をもつことができました。今年子どもたちの発案でお世話になった地域の方々も招待して、ご来校いただきました。翌朝の集会では、全校児童に向けて、合唱・群読を発表しました。4年生最後の大きな行事が終わり、子どもたちの表情は達成感に満ち溢れていました。そんな4年生62名は確実に高学年へ向けて成長していることを感じました。



音楽クラブ発表

2月21日（木）の朝、臨時集会で音楽クラブの発表を行いました。音楽クラブは、毎年「ひいらぎのつどい」の開会式と2月にクラブの成果を全校の前で発表しています。音楽クラブのまちの先生に子どもたちに合った楽譜を作成してもらい、この日のために一生懸命練習してきました。今回発表した曲は「美女と野獣」「Hero」でした。どちらの曲もそれぞれの楽器の良さや特長が表現されていて、どの子も自信をもって演奏していました。演奏が終わった後には大きな拍手をもらい、達成感が表情に表れていました。



個別支援学級合同学習発表会

2月15日（金）青葉公会堂で、青葉区個別支援学級合同学習発表会を行いました。本校の4・5組の子どもたちは、「にんにん忍者（音読劇）」を発表しました。12日（火）には校内発表も行いました。ウッドブロックのリズムに乗って、それぞれのセリフを大きな声ではっきりと行うことができとても立派でした。今年は、自分たちでセリフも考え、子どもたち自身もとても愛着をもって取り組むことができました。大きな舞台・大勢の観客ととても緊張する中でしたが、最後までしっかりとやりきり、また一つ、自信を深めることができました。



3月の独自献立

- 1日（金） 「ごはん」→「ターメリックライス」に変更します。
「はるみ」（季節の果物）を追加します。
 - 5日（火） 「麦茶」→「緑茶」に変更します。
 - 6日（水） 「みそ汁」の実を油揚げ・小松菜・切干大根→大根・人参・ねぎ・わかめに変更します。
 - 7日（木） 「ミックスフルーツ」国産の缶詰を使用します。
 - 13日（水） 「ビビンバ（肉）」に神奈川県産のやまゆりポークを使用します。
「韓国風焼きのり」（神奈川県産）を追加します。
 - 14日（木） 「あげぱん」【きなこ】【黒糖】二つの味を食べられるようにします。
（低学年は2種の粉を配膳、中学年以上はサイズの小さいパンを2本提供します。）
 - 15日（金） 「いちごのアイス」を追加します。
- ※独自献立は、季節の食材・伝統食を理解することや地産地消の推進・実現等を目的として各校の栄養士が教育委員会と相談の上決定しています。